

特集 三菱電機グループ約15万人のパーパスプロジェクト

2023年9月、新たな取組みとして国内外グループ会社の従業員約15万人*を対象としたパーパスプロジェクトを立ち上げました。本プロジェクトは、従業員が自身の「マイパーパス」について考え、企業理念／パーパスとの重なりや結びつきを見だし、働く仲間と共有しながら社内コミュニケーションを活性化する取組みです。この活動を通じて、現在進めている組織風土改革をより一層加速させます。

* 2023年3月31日時点 連結対象期末人員

パーパスプロジェクトがもたらす価値

従業員一人ひとりが持つ社会の中で「こうありたい」という志を「マイパーパス」と位置付けました。会社のパーパスとマイパーパスの重なりを見つけることで、仕事へのやりがいやワクワク感が生まれ、一人ひとりの力が社会貢献につながっているという実感につながります。個々のマイパーパスを会社が変わる原動力ととらえ、風通しのよい職場を目指して改革を進めています。



個人

自分らしさと強みを知ることで、
仕事にワクワク感が生まれる

チーム

自分と仲間のワクワクがつながり、
個性や強みが発揮されるチームへ

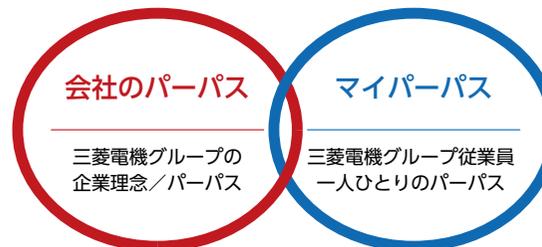
会社

企業の社会貢献性がアップし、
個の力が社会につながりやすい

三菱電機グループのマイパーパス活動

マイパーパスはまず従業員自身で自由に考えます。日々取り組んでいる仕事が、実は社会貢献や企業理念と重なっていることに気付くという順序を意識することで、従業員一人ひとりが心の底から納得できるマイパーパスとなることを目指しています。

マイパーパス作成後は、各チームでディスカッションを行うことを推奨しています。個々のマイパーパスを共有し、それが社会とどのようにつながっていくか、実現するにはどうすればよいかを話し合うことで、チームビルディングに活かしています。



Voices

マイパーパス

信頼する仲間と良いものを作り 社会に貢献する



伊丹製作所
高田 昌世

鉄道における車両の推進制御装置「インバータ」の設計を担当しています。大切にしているのは、周りの人との関係性です。設計作業の最適解を求めると視野が狭まってしまうことがあります。そうならないよう、周りの人と意見交換をすることで、異なる価値観を取り入れ、より良いものへとつなげることを意識しています。

[インタビュー記事を読む](#)

マイパーパス

自分の存在によって助かる人、 喜びを感じる人が一人でも増えること



静岡製作所 群馬工場
松崎 一浩

入社以来40年以上、主に製作所の工機部門で、治工具やプレス金型・プラスチック成形金型の製作に携わってきました。現在は現場の指導や後進の育成にあたっています。後進が日々前向きに仕事に取り組めるように指導できれば、結果として社会をよくすることにつながっていくと考えています。

[インタビュー記事を読む](#)

マイパーパス

試行錯誤から美しいデザインを 生み出すこと



統合デザイン研究所
ランダム・イアン

インダストリアルデザイナーとして、産業用ロボットや機器のデザイン・研究、未来工場技術の研究開発を行っています。試行錯誤を重ね、プロダクトとして結実したロボットが、色々な国の工場で動いていることに大きな達成感を感じます。これからもモノづくりへの熱意を原動力に、仕事を通じて世界や社会に貢献していきます。

[インタビュー記事を読む](#)